

## ☆☆☆ 生育概況（6月23日調査） ☆☆☆

### <早植コシヒカリ>

草丈：全地点で前年より長い（114%）  
 茎数：那須町、那須烏山市で前年より多いが、その他の地点で少ない（89%）  
 葉齢：地点によりバラツキがあるが、平均すると前年並み（-0.1）。  
 葉色：地点によりバラツキがあるが、平均すると前年並み（-0.1）。

### <早植とちぎの星>

草丈：全地点で前年より長い（119%）  
 茎数：真岡市でやや多いが、他の地点では少ない（84%）。  
 葉齢：地点によりバラツキがあるが、平均すると前年並み（-0.2）。  
 葉色：農研センターでは濃いですが、その他の地点で淡く、平均すると前年より淡い（-0.4）。

## ○気象概況

6月上旬：低気圧と高気圧が交互に通過し、数日の周期で変化しました。4日は、上空の寒気の影響で雷雨となり、南部では、非常に激しい雨が降った所がありました。関東甲信地方は6月10日ごろ（速報値）に梅雨入りしたと見られます。宇都宮の旬平均気温は高く、旬間日照時間と旬降水量はともに平年並となりました。

6月中旬：前半は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、11日と14日から15日は広い範囲で雨となり、15日は激しく降った所もありました。後半は高気圧に覆われて晴れの日が多くなりました。宇都宮の旬平均気温はかなり高く、旬間日照時間はかなり多く、旬降水量は少なくなりました。

関東甲信梅雨入り：本年 6月10日頃（平年差3日遅い、昨年差11日早い）

## ○生育調査結果

### 【早植コシヒカリ】県内10カ所

6月中旬以降の気温がかなり高くなり、草丈が全地点で前年より長くなりました（114%）。茎数は那須町、那須烏山市を除き少なく、平均茎数は前年より少なくなりました（89%）。高温により稲体が消耗したため茎数の増加が抑制されたためと考えられます。葉齢、葉色は前年並みとなっています（いずれも-0.1）。

### 【早植とちぎの星】県内4カ所

とちぎの星についても、コシヒカリと同様に高温の影響で、草丈は全地点で前年より長く（119%）、茎数は少なくなりました（84%）。葉齢は、さくら市、農研センターは前年より少なく、宇都宮市、真岡市は前年並み～やや多くなり、平均すると前年並みとなりました（-0.2）。葉色は農研センターで前年より濃くなりましたが、全県的には淡くなりました（前年差-0.4）。

### 【普通植とちぎの星】

草丈は、前年より長く（106%）、茎数は多くなりました（110%）。葉齢、葉色は前年並みとなっています（いずれも-0.1）。

現在、水稻の生育ステージは最高分けつ期になっています。図1にコシヒカリの最高分けつ期の生育診断指標値（葉色×茎数）と各地の生育診断値をプロットしました。塩谷町、那須烏山市は適正範囲内です。那須町、那須塩原市、小山市は適正範囲を上回っており、逆に、日光市、鹿沼市、宇都宮市、芳賀町、農研センターは下回っており、地域によって大きくバラついています。

図2にとちぎの星の生育診断指標値と各地の生育診断値をプロットしました。全地点で最高分けつ期の生育診断指標値を下回っており、前年同時期よりも低くなっています。

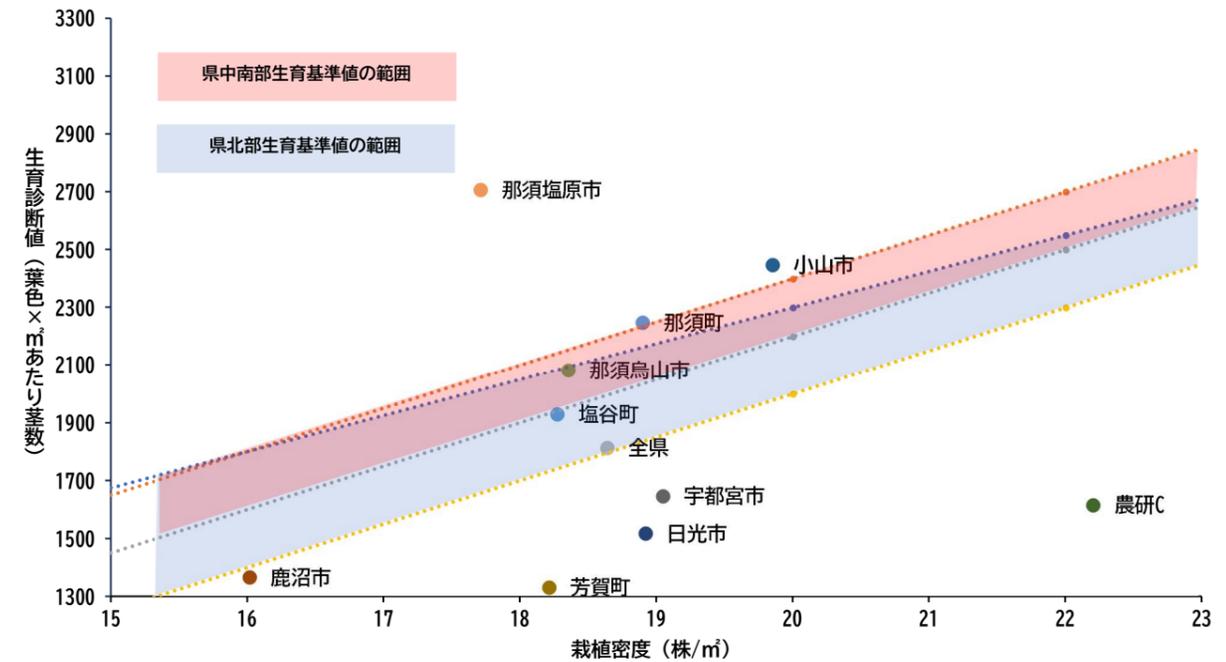


図1 最高分けつ期生育診断値（コシヒカリ）

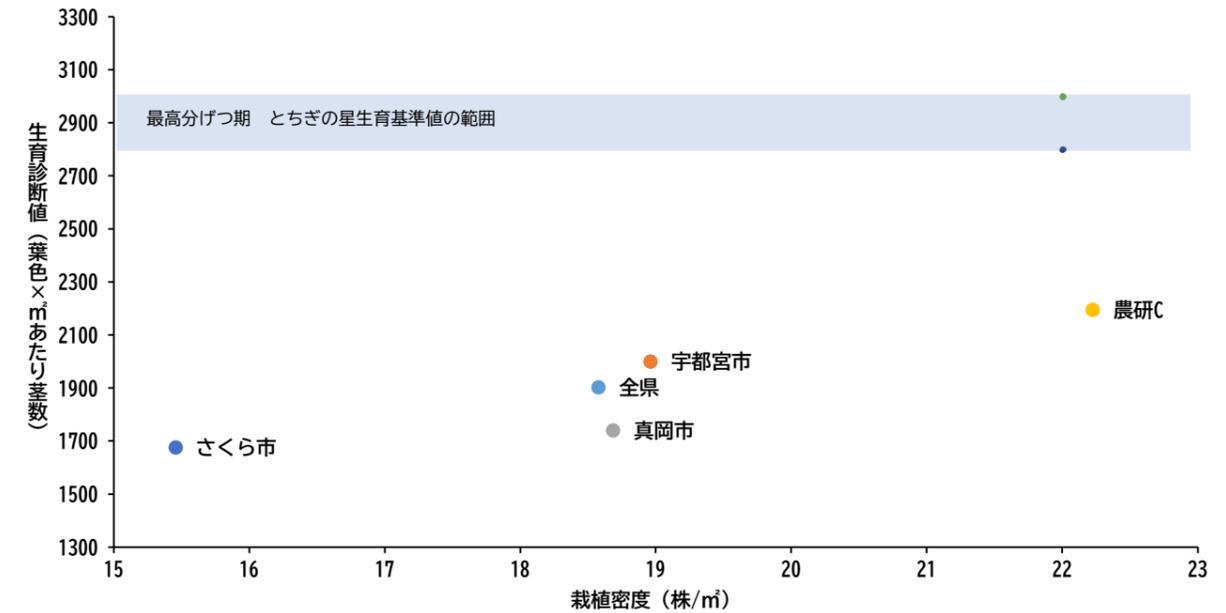


図2 最高分けつ期生育診断値（とちぎの星）

## ○農研センター地温の推移

今年の農業総合研究センター水田の地温は前年と同様に高温で推移しています。特に6月中旬以降はかなり高くなっています。期間の平均気温は前年並みとなっていることから、前年同様に緩効性肥料の溶出が早まっている可能性があります。葉色も前年並みとなりました。

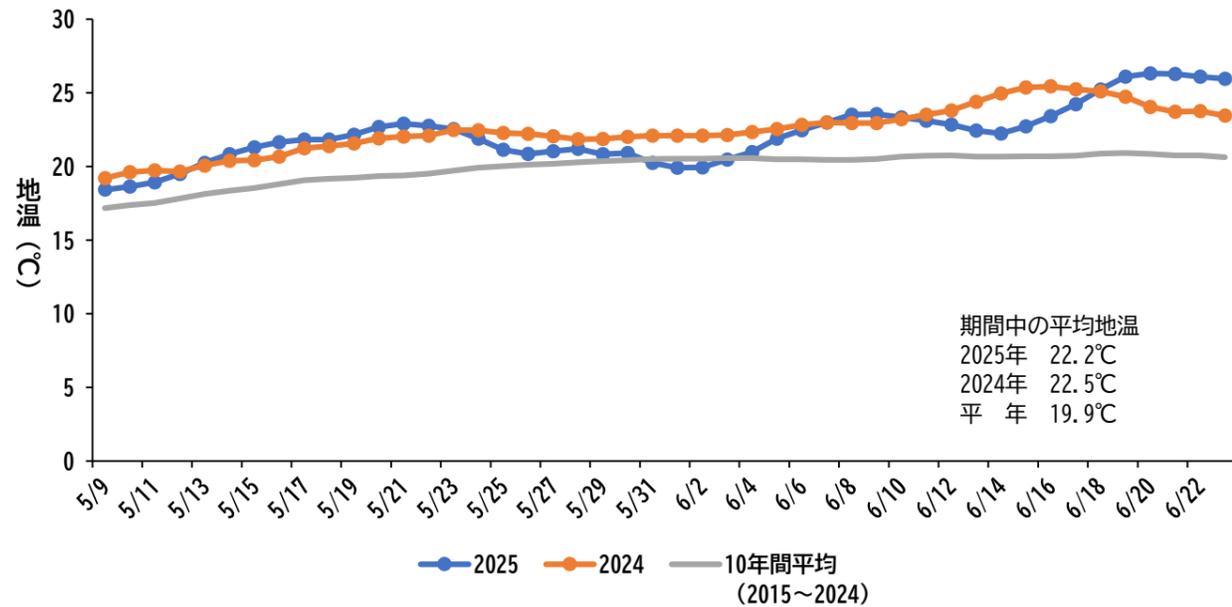


図3 農業総合研究センター水田の地温推移

## ○水稻の出穂予測について（6月23日時点）

前年の生育診断ほの平均出穂日は7月23日で、R5年度同様、生育診断調査開始以来、最も早い出穂となりました。現在の葉齢は、前年並みに経過していることから、今年の出穂も早まることが予想されます。

表1に農研センターにおける、品種ごとの幼穂分化期を示しました。極早生品種の「初星」では、前年6月16日に幼穂の分化を確認しましたが、本年はそれよりも1日早い6月15日に幼穂分化を確認しました。コシヒカリは前年より1日遅い6月22日に幼穂分化を確認しました。以上のことから、幼穂分化から推定すると出穂は記録的に早かった前年並みになる可能性があります。

	初星	なすひかり	コシヒカリ	とちぎの星
本年	6月15日	6月23日	6月22日	
前年	6月16日	6月17日	6月21日	6月25日
平年	6月20日	6月23日	6月28日	6月29日
移植日	5月8日	5月8日	5月7日	5月7日

※なすひかりの平年値はH16～R2の17カ年平均

※コシヒカリの平年値はH1～R6の35カ年平均

※とちぎの星の平年値はH24, 26～R6の10カ年平均

◎表1について

※幼穂分化期については、幼穂分化期から数日（3日以上）経過しないと確定できないため、未確認の品種の幼穂分化期が調査日以前の可能性もある。

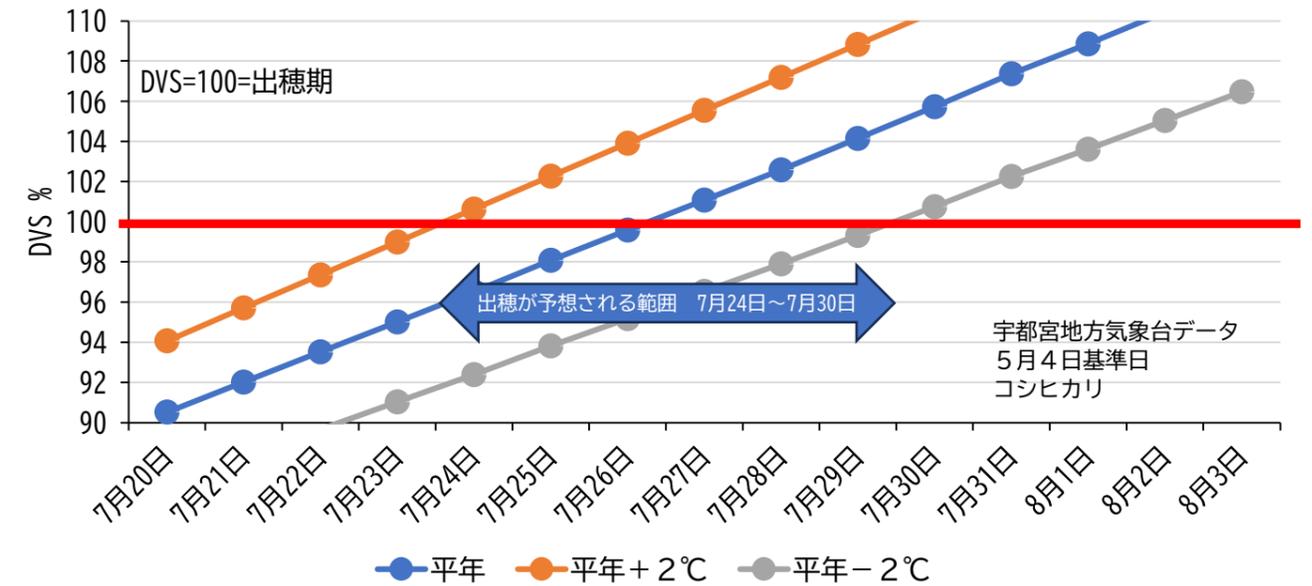


図4 ノンパラメトリック DVR 方による出穂期予測（6月25日に計算）

図4にノンパラメトリック DVR 法による出穂期予測を示しました。宇都宮市で5月4日に移植されたコシヒカリについて6月23日までの気温により出穂を予測しました。なお、6月24日以降は平年値を用いて計算しています。6月23日以降平年並の気温で経過すると、

## 7月27日

に出穂すると予測されました。今後、**気温が高め（+2°C）**で経過すると**7月24日**、低め（-2°C）で経過すると7月30日に**出穂すると予測**されました。

6月20日気象庁発表の1か月予報によると気温は高めに経過する予報なので、出穂は昨年並みに早まる可能性があります。

気象庁 関東甲信地方1か月予報（6月19日発表）

2025年06月19日14時30分 気象庁 発表					
特に注意を要する事項	期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。				
向こう1か月 06/21～07/20	天候	平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。			
	気温	平均気温は、高い確率80%です。			
	降水量	降水量は、少ない確率50%です。			
	日照時間	日照時間は、多い確率50%です。			
1週目 06/21～06/27	気温	1週目は、高い確率80%です。			
2週目 06/28～07/04	気温	2週目は、高い確率70%です。			
3～4週目 07/05～07/18	気温	3～4週目は、高い確率60%です。			
気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）					
気温	関東甲信地方	向こう1か月 06/21～07/20	10	10	80
		1週目 06/21～06/27	10	10	80
		2週目 06/28～07/04	10	20	70
		3～4週目 07/05～07/18	10	30	60
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 06/21～07/20	50	30	20
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 06/21～07/20	20	30	50

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

□■□ 今後の技術対策 □■□

(1) 水管理

すでに必要茎数（コシヒカリで 360 本～380 本/㎡）が確保されているほ場では間断かん水を継続し、分げつが過剰にならないように留意しましょう。最高分げつ期の生育診断値を上回っているほ場では、茎数が過剰とならないよう中干しなどを実施して、茎数の整理を行ってください。

5月中下旬の田植など、まだ茎数が確保されていないほ場では、引き続き、夜間かん水、日中止水（浅水）とし、分げつ発生を促進しましょう。

穂数やもみ数が過多となると、登熟が劣り、白未熟粒などの品質低下を招きます。また茎が細くなり倒伏の助長にもつながります。今後の気温の上昇に伴い、肥料成分の発現量が増加する可能性があることから、葉色が濃く、茎数が多いほ場では中干しを行い、もみ数が過剰とならないようにしましょう。

(2) 病害虫の防除

ア いもち病（葉いもち）

作物体の濡れが持続することで、いもち病の病原菌（カビ）の萌芽や伝播が行われて被害が拡大します。強い降雨では菌が流れてしまうのに対し、継続的な弱い降雨は感染拡大につながります。

BLASTAM による葉いもち感染好適条件判定結果では 6 月 10～19 日に各地で感染好適条件が出現しています。

(<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/boujo/documents/20250623081259.pdf>)

いもち病は気温 25℃～28℃で湿度の高い条件で感染拡大が進みますので、ほ場を良く見回り、早期発見・早期防除に努めましょう。

表2 BLASTAM による葉いもち感染好適条件判定結果（令和6年度）

発生指標	? : 判定不能	- : 好適条件なし	1 : 準好適条件1	2 : 準好適条件2	3 : 準好適条件3	4 : 準好適条件4	● : 好適条件		
	黒磯	大田原	塩谷	那須烏山	鹿沼	宇都宮	真岡	佐野	小山
6月1日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月2日	-	-	-	-	4	-	-	-	4
6月3日	-	-	-	-	-	-	-	1	-
6月4日	4	4	4	1	-	-	-	-	-
6月5日	-	-	4	4	4	-	-	-	-
6月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月7日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月8日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月9日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月10日	-	-	-	-	-	4	●	●	●
6月11日	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6月12日	-	4	●	-	●	-	-	-	-
6月13日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月14日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月15日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月16日	-	-	-	-	-	-	●	-	-
6月17日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月18日	●	-	-	-	-	-	-	-	-
6月19日	-	●	-	-	-	-	-	-	-
6月20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月21日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月22日	-	-	-	-	-	-	-	-	-

イ 稲こうじ病

昨年多発したほ場は、防除適期（出穂 20～10 日前）に効果的な薬剤を散布しましょう。なお、適期を逃すと効果が低下するので注意しましょう。



ウ イネカメムシ対策

昨年より県南地域を中心に発生が確認されました。イネカメムシは、出穂期に穂を吸汁することで不稔が発生し減収につながります。また、乳熟期の吸汁は斑点米の発生につながります。**出穂期防除が必須**であり、通常の斑点米カメムシ類と防除体系が異なります。適期防除に努めましょう。



写真 出穂した穂

**注意**  
葉鞘からわずかでも穂が出ていれば出穂です。  
**ほ場全体の4～5割出穂して**いれば**出穂期**となります。



写真 イネカメムシ（左：成虫、右：幼虫）

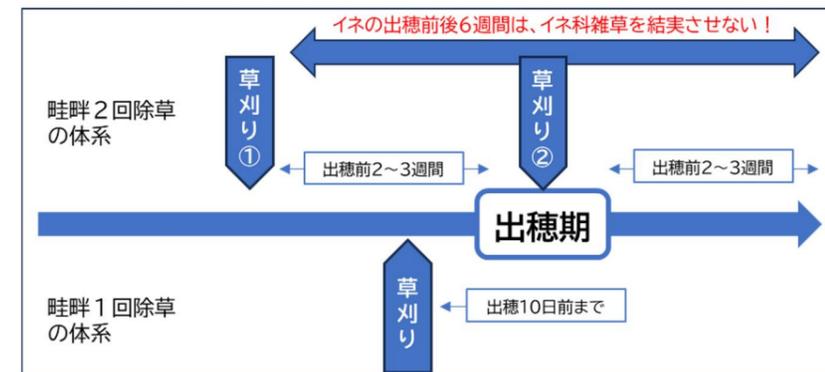


図3 イネカメムシの発生地域における斑点米カメムシ類の総合防除体系

エ 斑点米カメムシ

斑点米カメムシ類については、今年も前年に引き続き動きだしが早そうです。斑点米カメムシ類は、薬剤防除の徹底に取り組むとともに、イネ科雑草が誘因源となりますので、出穂させない管理が大切になります。

また、水田内に発生しているノビエやホタルイなども、カメムシの発生源となりますので除草しておきましょう。



【参考データ】

【早植コシヒカリ：本田における生育調査結果】

No.	設置場所	草 丈 (cm)			1株本数			茎 数 (本/m <sup>2</sup> )			葉 齢 (葉)			葉色(葉緑素計)			葉 色(葉色板)			葉色×茎数		
		本 年	前 年	比(%)	本 年	前 年	比(%)	本 年	前 年	比(%)	本 年	前 年	差	本 年	前 年	差	本 年	前 年	差	本 年	前 年	比(%)
1	那須町寺子丙	53.8	46.9	115%	26.9	24.7	109%	507	434	117%	9.9	9.4	0.5	34.5	38.2	-3.7	4.4	4.5	-0.1	2,248	1,954	115%
2	那須塩原市一区町	64.8	58.3	111%	33.4	38.3	87%	592	617	96%	10.0	11.5	-1.5	33.8	35.7	-1.9	4.6	4.5	0.1	2,706	2,775	97%
3	塩谷町玉生	57.5	54.1	106%	24.1	29.5	82%	441	524	84%	9.9	9.8	0.1	42.0	40.0	2.0	4.4	4.6	-0.2	1,929	2,405	80%
4	那須烏山市南大和久	65.6	57.5	114%	29.3	25.2	116%	538	472	114%	10.2	10.7	-0.5	35.2	30.6	4.6	3.9	3.3	0.7	2,083	1,556	134%
5	日光市木和田島	63.7	55.5	115%	23.6	27.2	87%	447	568	79%	10.3	9.9	0.4	39.5	37.2	2.3	3.4	3.2	0.2	1,518	1,808	84%
6	鹿沼市久野	62.1	51.3	121%	25.1	25.9	97%	402	412	98%	10.6	9.8	0.8	40.9	40.3	0.6	3.4	4.3	-0.9	1,367	1,763	78%
7	宇都宮市川田町	62.5	53.2	117%	24.2	28.4	85%	460	530	87%	10.4	9.8	0.6	41.4	36.7	4.7	3.6	3.7	-0.1	1,647	1,943	85%
8	芳賀町東水沼	59.8	51.7	116%	20.3	30.8	66%	370	577	64%	10.3	10.9	-0.6	40.2	40.7	-0.5	3.6	4.9	-1.3	1,332	2,827	47%
9	小山市鏡	70.5	61.8	114%	30.3	39.3	77%	603	749	81%	10.2	10.4	-0.2	36.9	38.2	-1.3	4.1	3.6	0.5	2,447	2,723	90%
10	農業総合研究センター	62.0	57.2	108%	22.2	26.7	83%	494	594	83%	10.0	10.3	-0.3	36.3	36.4	-0.1	3.3	2.8	0.5	1,616	1,663	97%
平均	全量基肥平均	62.2	54.8	114%	25.9	29.6	88%	485	548	89%	10.2	10.3	-0.1	38.1	37.4	0.7	3.9	3.9	-0.1	1,889	2,142	88%
分施体系	農業総合研究センター	63.8	59.3	108%	24.5	28.6	86%	544	636	86%	9.2	10.2	-1.0	37.4	36.9	0.5	3.3	2.7	0.6	1,813	1,708	106%

※葉色は葉色板の数値  
葉色は数値が高いほど濃い

【早植とちぎの星：本田における生育調査結果】

No.	設置場所	草 丈 (cm)			1株本数			茎 数 (本/m <sup>2</sup> )			葉 齢 (葉)			葉色(葉緑素計)			葉 色(葉色板)			葉色×茎数		
		本 年	前 年	比(%)	本 年	前 年	比(%)	本 年	前 年	比(%)	本 年	前 年	差	本 年	前 年	差	本 年	前 年	差	本 年	前 年	比(%)
11	さくら市狭間田	52.3	47.9	109%	24.9	31.3	80%	385	546	71%	9.6	9.9	-0.3	40.5	41.3	-0.8	4.4	4.5	-0.2	1,676	2,461	68%
12	宇都宮市下桑島町	65.8	52.9	124%	25.4	31.9	80%	484	610	79%	11.0	10.6	0.4	47.2	46.4	0.8	4.1	4.4	-0.3	2,000	2,674	75%
13	真岡市清水	62.4	48.4	129%	26.6	25.3	105%	497	477	104%	10.1	10.0	0.1	42.8	43.5	-0.7	3.5	4.9	-1.4	1,740	2,337	74%
14	農業総合研究センター	59.4	52.8	113%	26.3	30.8	85%	584	685	85%	9.1	10.0	-0.9	42.0	41.5	0.5	3.8	3.4	0.4	2,195	2,351	93%
平均	早植平均	60.0	50.5	119%	25.8	29.8	87%	487	579	84%	10.0	10.1	-0.2	43.1	42.5	0.7	3.9	4.3	-0.4	1,903	2,456	77%

※葉色は葉色板の数値  
葉色は数値が高いほど濃い

【普通植とちぎの星：本田における生育調査結果】

No.	設置場所	草 丈 (cm)			1株本数			茎 数 (本/m <sup>2</sup> )			葉 齢			葉色(葉緑素計)			葉 色(葉色板)			葉色×茎数		
		本 年	前 年	比(%)	本 年	前 年	比(%)	本 年	前 年	比(%)	本 年	前 年	差	本 年	前 年	差	本 年	前 年	差	本 年	前 年	比(%)
15	栃木市皆川	36.5	34.5	106%	20.8	22.2	94%	388	354	110%	7.7	7.8	-0.1	40	43	1.0	4	4	-0.1	1,539	1,441	107%

※葉色は葉色板の数値  
葉色は数値が高いほど濃い

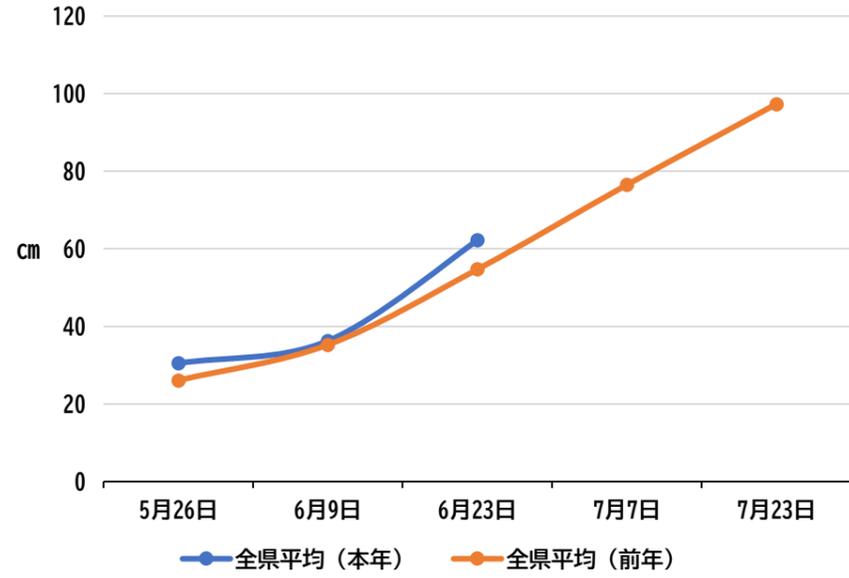
6月23日調査

表 R7移植後47日（6月23日）の生育調査

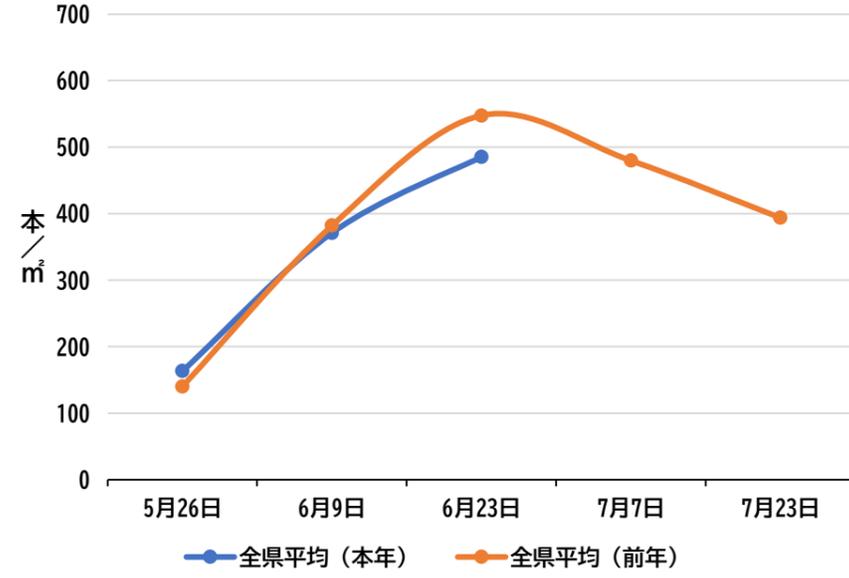
処理	葉面積 (m <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> )			乾物重 (g/m <sup>2</sup> )		
	本年	平年	比 (%)	本年	平年	比 (%)
コシヒカリ・0.0	1.32	1.28	103	138	120	115
コシヒカリ・0.3	2.34	2.22	105	248	208	119
コシヒカリ・0.5 (全基)	2.21	1.94	114	226	189	119
とちぎの星・0.6 (全基)	2.61	2.60	100	235	242	97
とちぎの星・0.5	3.05	2.85	107	291	266	109

# 2025 生育診断ほ「コシヒカリ」生育経過（6月23日）

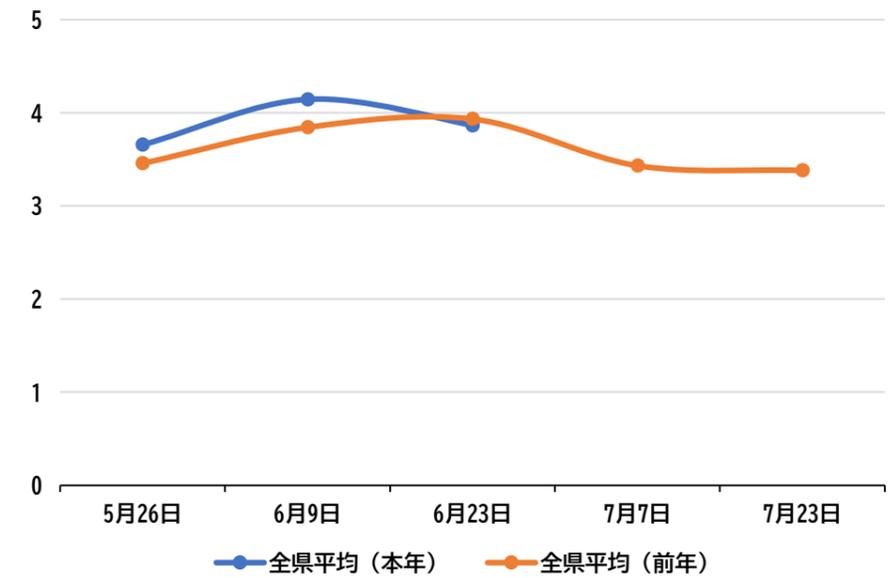
## 草丈の推移



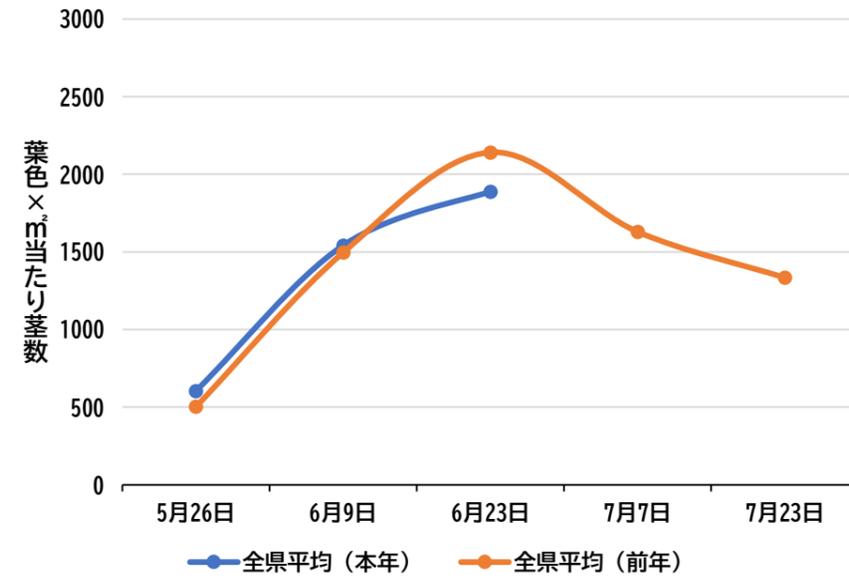
## 茎数の推移



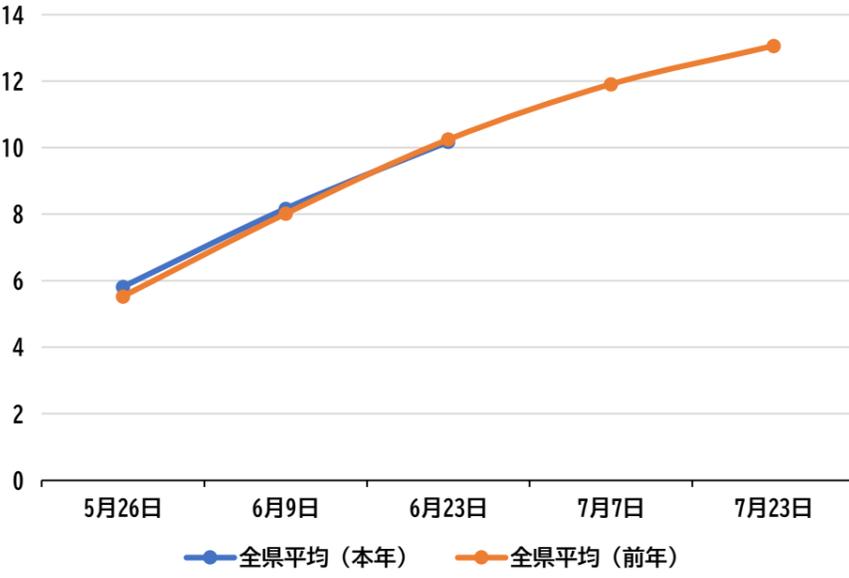
## 葉色の推移



## 生育診断値の推移

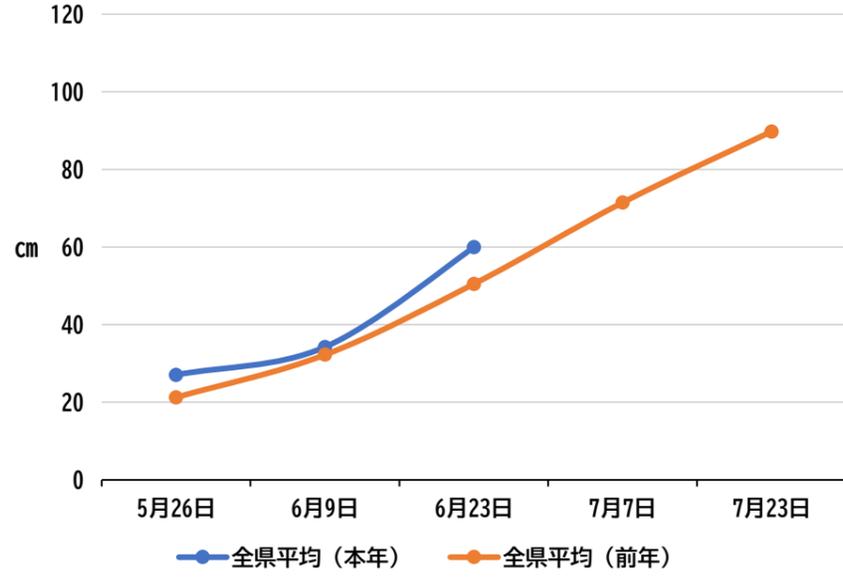


## 葉齢の推移

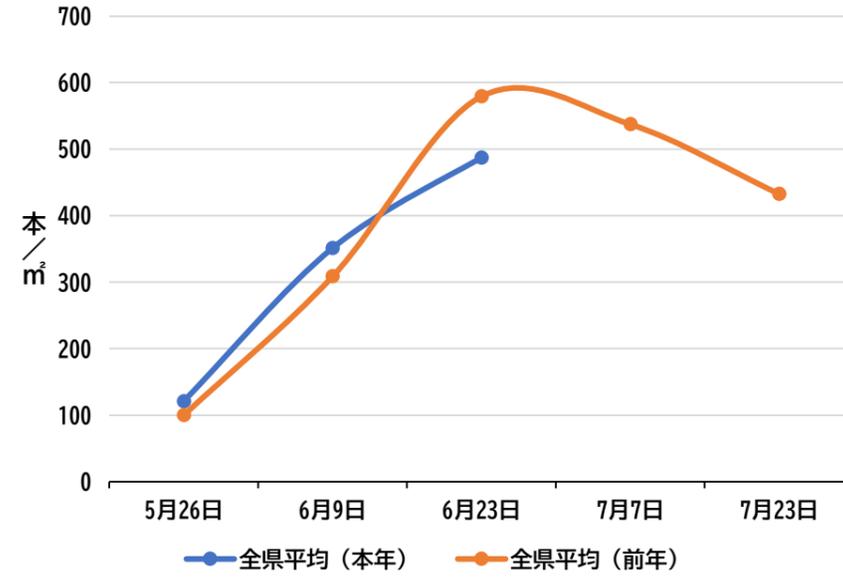


# 2025 生育診断ほ「とちぎの星」生育経過（6月23日）

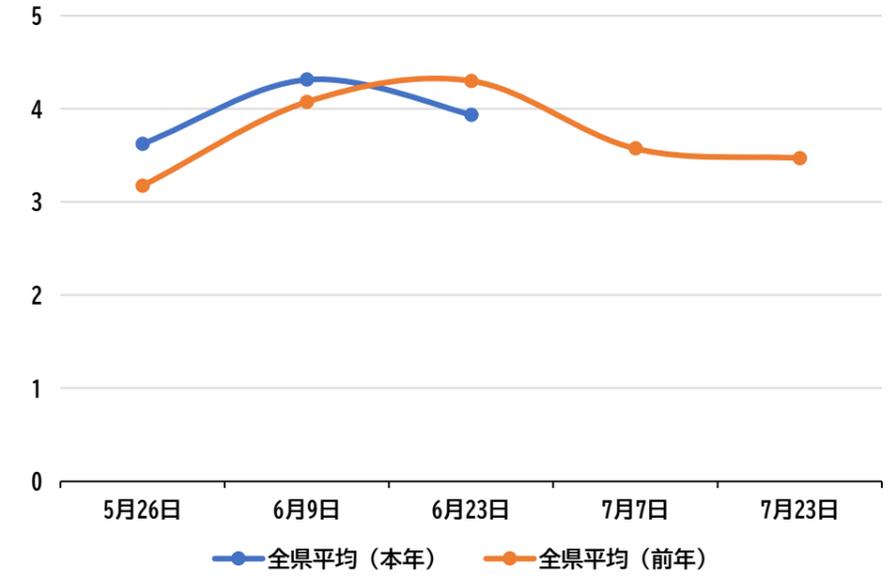
## 草丈の推移



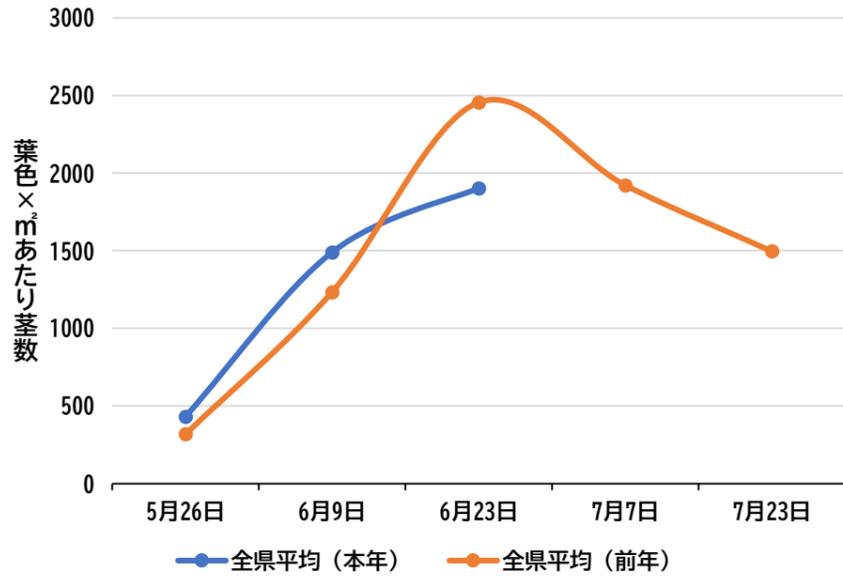
## 茎数の推移



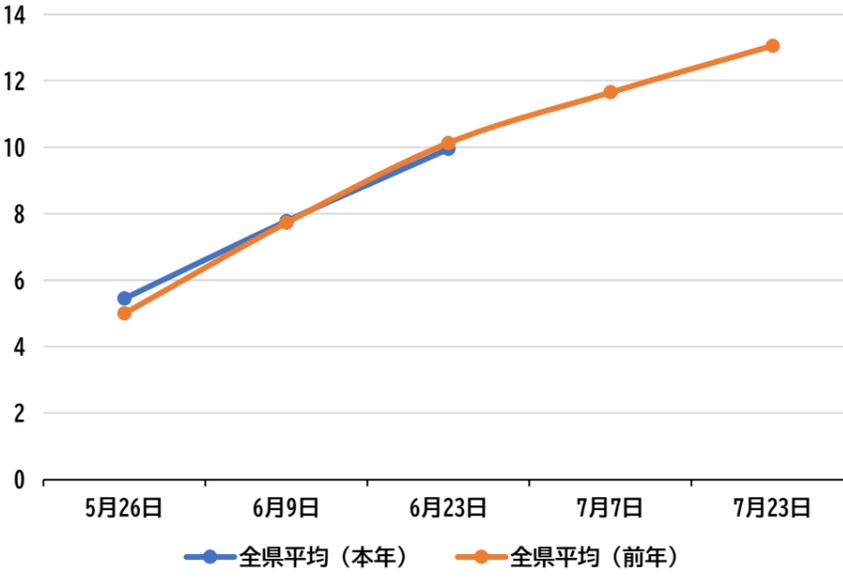
## 葉色の推移



## 生育診断値の推移



## 葉齢の推移

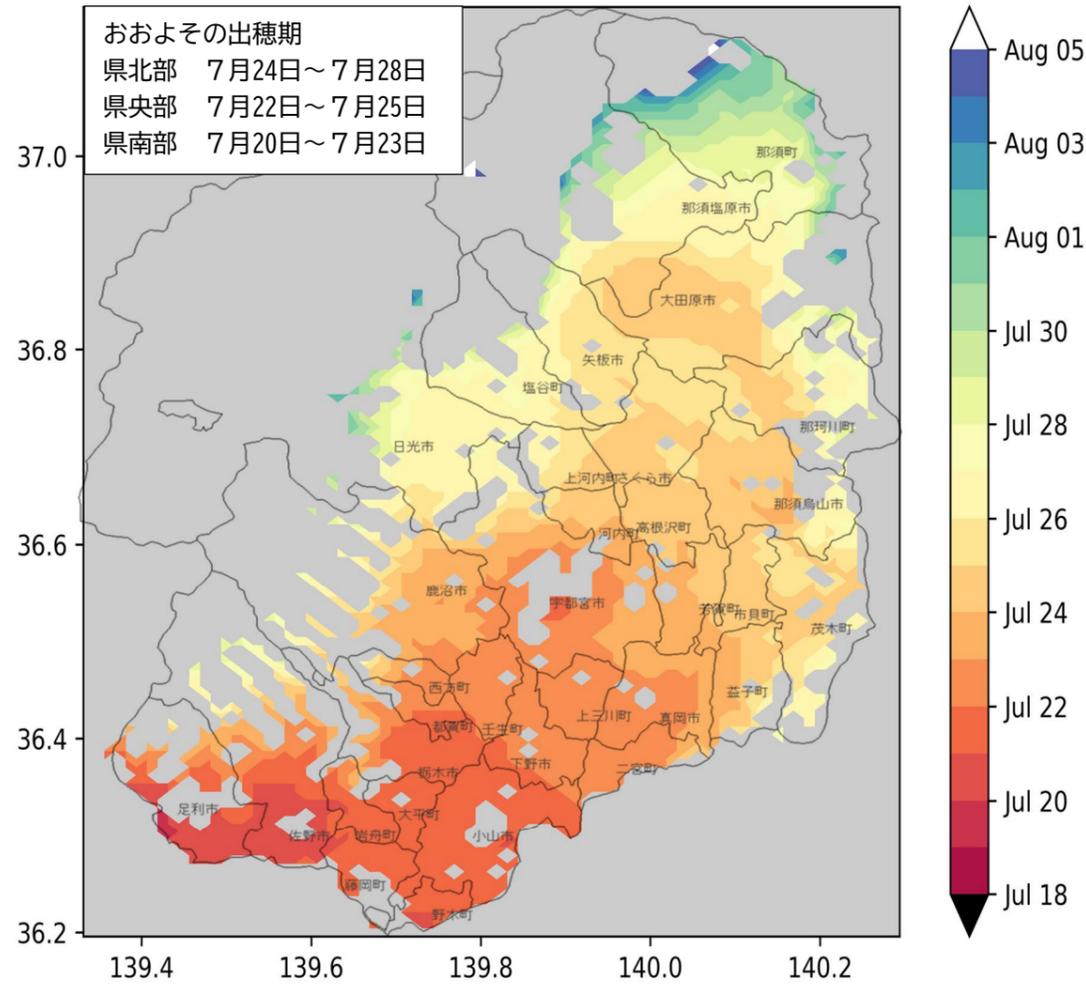


# 2025年 気象経過グラフ

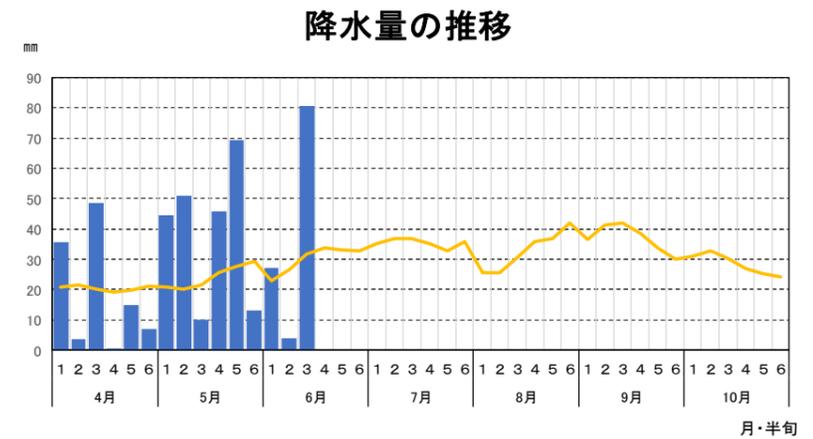
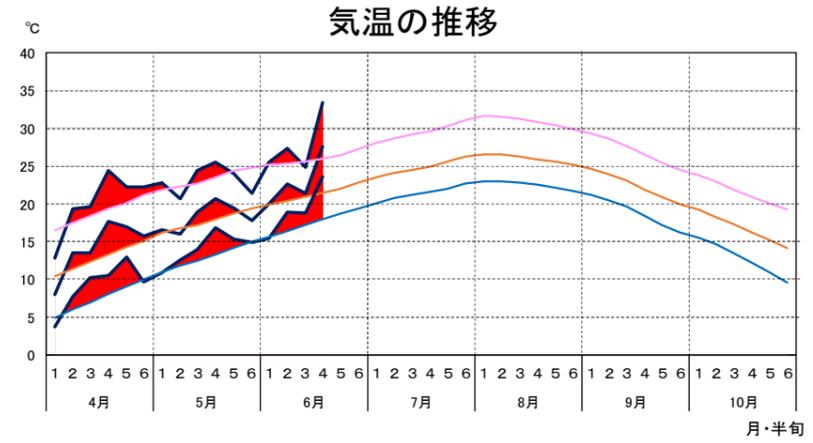
農政部経営技術課  
自：令和7年4月1日  
至：令和7年6月25日

AMeDAS地点 宇都宮アメダス

Heading Date-2025



【暖候期グラフ】



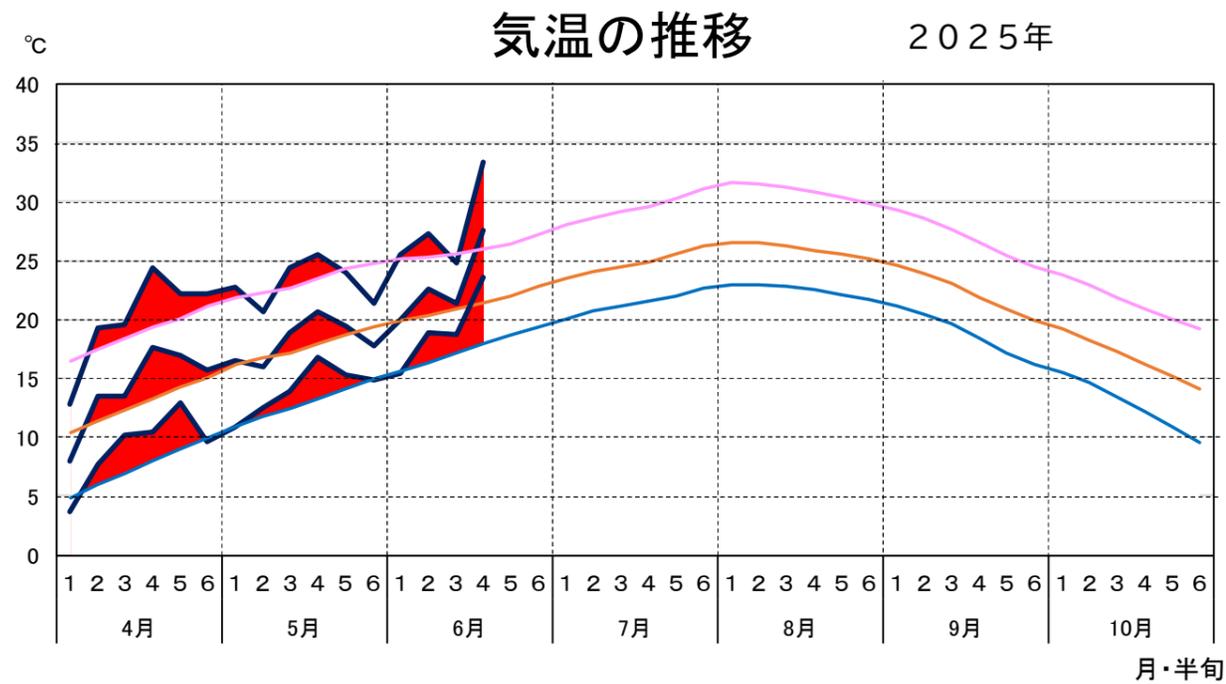
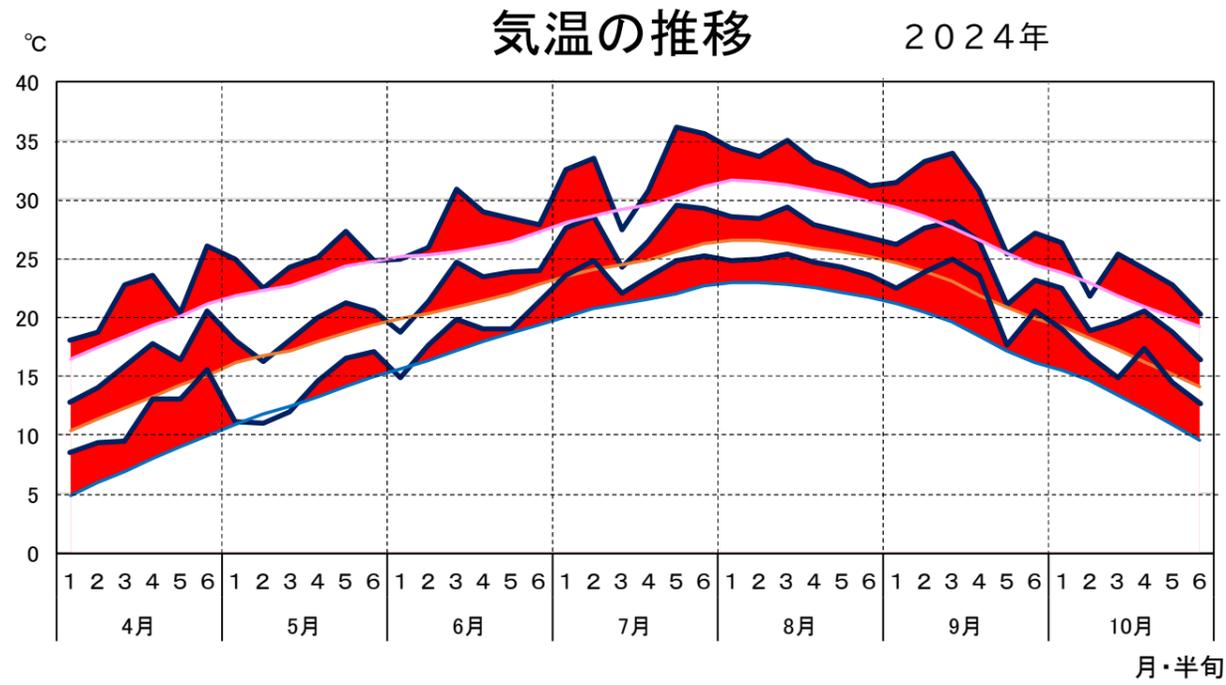
		本年	平年	平年比/差
4月	上旬	平均気温(℃) 10.8	10.9	-0.1℃
		降水量(mm) 39	41.3	94.4%
		日照時間(h) 52.5	64	82.0%
中旬	平均気温(℃)	15.5	12.8	2.7℃
	降水量(mm)	49	38.1	128.6%
	日照時間(h)	64.3	58.9	109.2%
下旬	平均気温(℃)	16.3	14.6	1.7℃
	降水量(mm)	22	42.1	52.3%
	日照時間(h)	67.7	62	109.2%

		本年	平年	平年比/差
5月	上旬	平均気温(℃) 16.3	16.6	-0.3℃
		降水量(mm) 95.5	39	244.9%
		日照時間(h) 61.8	58.8	105.1%
中旬	平均気温(℃)	19.7	17.5	2.2℃
	降水量(mm)	56	45.9	122.0%
	日照時間(h)	59.2	54.5	108.6%
下旬	平均気温(℃)	18.5	19.2	-0.7℃
	降水量(mm)	82.5	64.3	128.3%
	日照時間(h)	29.5	62	47.6%

		本年	平年	平年比/差
6月	上旬	平均気温(℃) 21.2	20.1	1.1℃
		降水量(mm) 31	43.6	71.1%
		日照時間(h) 52.6	52	101.2%
中旬	平均気温(℃)	24.5	21.2	3.3℃
	降水量(mm)	80.5	69.2	116.3%
	日照時間(h)	43.2	37.1	116.4%
下旬	平均気温(℃)	26	22.3	3.7℃
	降水量(mm)	26	62.4	41.7%
	日照時間(h)	15.6	29.3	53.2%

図 メッシュ農業気象データによる県内出穂期予測（農研センター計算）  
5月4日移植コシヒカリを基準として DVR 法で計算（計算基準日6月24日）

◎ 2024年（前年）と2025年（今年）との気象比較



<前年との気温の比較と出穂期>

4、5月は前年に比べ低く経過しましたが、6月は前年より高くなりました。期間内の平均気温に差がなく、平年よりも高温に経過していることから、今後の気温も高く経過すれば、過去最速となった前年並みの出穂期になる可能性があります。

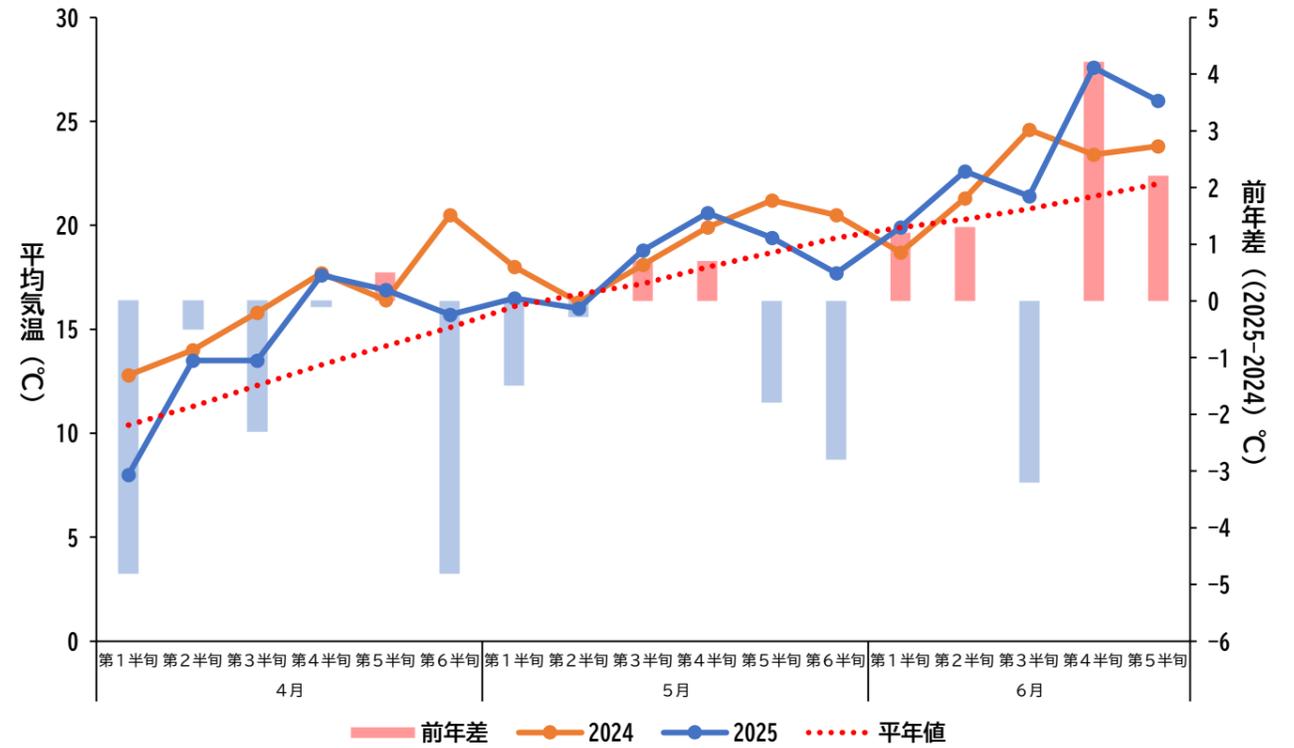


図 2024年と2025年の気温比較